

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回行田市総合教育会議
開 催 日 時	令和4年8月29日(月) 開会：午前10時 閉会：午前11時20分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2階 2A・2B会議室
出席者(委員) 氏 名	石井直彦市長、齋藤操教育長、鹿山高彦委員、 飯塚千十世委員、大澤恵子委員、大竹洋平委員
欠席者(委員) 氏 名	なし
事 務 局	石川副市長 教 育 部：小池教育部長、石崎教育部次長兼教育指導課長、 須永教育指導課主幹、長島教育総務課長、 新井教育総務課主幹 総合政策部：渡邊総合政策部長、鴨田総合政策部次長兼秘書課長、 島田総合政策部次長兼企画政策課長、 横倉企画政策課主幹、青柳企画政策課主任
会 議 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事 G I G Aスクール構想の取組状況について</li> <li>・報告 学校再編成の進捗状況について</li> <li>・その他</li> </ul>
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・行田市総合教育会議構成員名簿</li> <li>・資料1：G I G Aスクール構想の取組状況について</li> <li>・資料2：学校再編成の進捗状況について</li> <li>・行田市総合教育会議設置要綱</li> </ul>
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第の「3 議事」に入る前に、会議の公開・非公開に関する取扱いについて確認させていただく。本日の会議では、個人情報を取り扱う予定がないことから、行田市総合教育会議設置要綱第6条に基づき、公開とさせていただく。また、会議録は、発言者名を明記の上、要点筆記で作成し、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて、後日公開させていただく。</li> <li>・それでは、本日の「議事」に入る。要綱第4条第1項の規定により、会議の議長は市長が務めることとなっていることから、ここからは石井市長に進行をお願いする。</li> </ul>
議 長	<p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。</li> <li>・次第に基づき順次、進めさせていただく。</li> <li>・次第3「議事」の「G I G Aスクール構想の取組状況」について、私は、「機器の整備だけでなく、それをどう活用していくかが大変重要である」とこれまでも言ってきたところだが、今回はI C T環境の整備状況やI C T機器活用のための支援、今後の活用促進等について、各構成員と意見を交わしたいと考えている。</li> <li>・まず、教育長に説明をお願いする。</li> </ul>
教 育 長	<p style="text-align: center;">＜資料1により概要説明＞</p>
事 務 局	<p style="text-align: center;">＜資料1により詳細説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議は教育行政について、教育委員と協議や意見交換をする場である。</li> <li>・ただいまの説明に関し、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・W i - F i 環境について、教室によっては圏外となる場所や繋がりにくい場所がある。体育館については、圏外となっていると思う。現在は、コロナ禍で体育館を活用する場面は限られていると思うが、収束した場合を見据えて体育館にもW i - F i 環境の整備が必要と思われる。これにより、学校会議において互いに体育館等からの開催や講演等の実施が可能となる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、現在のICT支援員の配置が2人であるが、国の目標である「4校に1人配置」に比べて遅れている印象がある。私も薬局からオンラインで学校と通信して講演に幾度か参加したことがあり、使用していた会議ツールでトラブルが発生したことがあったが、偶然ICT支援員がその学校に配置されていた時間帯であったため、何事もなく無事に講演を済ませることができた。そのため、ICT支援員の配置については、充実をお願いしたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの鹿山委員からの意見について、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
飯塚委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として通信容量を掲げていたが、ICT機器が作動なくなると授業に支障が生じ、結局、活用に結びつかない事態が発生しかねない。まずは、根本的なところでICTの環境整備が重要であると思った。Wi-Fi環境の整備は、早急に解決すべきである。</li> <li>・鹿山委員からも意見があったようにICT支援員の配置も国の目標より少なく感じたため、ICT支援員を増員することによって学校現場でタイムリーに対応することができる環境が必要であると考えます。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの飯塚委員の意見に対し、現在の対応状況、対策等についてわかる範囲で説明をお願いします。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員については、現在、21校につき2名の配置状況であり、調整を図りながら必要とする学校に優先的に配置するなどして対応している。また、昨年9月に実施した一斉オンライン授業においては、学校への訪問頻度を上げて対応した。</li> <li>・通信ネットワーク環境について、児童・生徒数が多い学校において一斉に使用した場合に通信が滞る状態が発生していることは、機器の活用開始後に明らかになった課題である。また、国の方針では、指導者用だけでなく学習者用デジタル教科書を配備することが望ましいとされているが、その際の通信容量がICT機器1台当たりどの程度であるかも確認し、改善を図っていきたいと考えている。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員について、本市の配置状況は国の基準より少ないのか足りているのか、国から基準が示されているか説明をお願いします。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の目標値として「4校に1人配置」することが示されている。本市の現状は10校に1人配置しているところである。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の現状をどのように捉えているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置状況が十分とは言い切れない状況であると認識している。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員1人あたりで年間どの程度の予算が必要なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、ICT支援員2人で約1,400万円である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう形での配置が望ましいのかよく検討する必要がある。単に、支援員を増員するだけでなく、先程、事務局から説明があったように午前、午後で配置先を変えるなどの工夫をすることで21校につき何人に対応できるなどを把握し、国の目標値も参考にしながら検討してもらいたい。ICT支援員については、各委員においてはこのような対応方法でよろしいか。</li> <li>・また、通信環境の整備について、これまで通信容量が不足してICT機器が作動しなくなったケースはどの程度あったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒数の多い学校で特に課題となっており、具体的には泉小学校、長野中学校、西中学校である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その課題に対して、解決方法やこれまで取り組んできたことは何かあるか。例えば、通信容量が集中しないように原因を追求し、その対策として何らかの工夫を凝らして対応している、又はそもそも将来的には通信容量を増やさないと対応できないなどといった考えはないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉小学校等では、オンラインドリルに取り組む際に教室内でグループ分けし、時間を区切って対応しているなどと承知している。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのためにはできる限り不足のない通信環境を整備するべきである。もちろん、予算の問題はあるが、整備に大体どの程度の費用が掛かるのか金額等を積算し、実施の可否について検討していくべきである。課題をどのように解決していくのか、次回以降の総合教育会議でいいので、年度内に方向性を示してもらえるとよいと考えるがいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当内で連携しながら研究していく。</li> </ul>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者用デジタル教科書について、算数・数学、外国語、理科の3教科以外にも沢山の教科があると思う。また、デジタル教科書以外にも児童・生徒の学習に役立つデジタルコンテンツがあるかと思うのでぜひ活用してもらいたい。レイチェル・カーソンの著書「センス・オブ・ワンダー」とは、「神秘さや不思議さに目をみはる感性」と説明されているように、子どもの育ちで最も大切なものは何か、それは「知ること」よりも「感じること」である。実際、本物に触れることが一番望ましいことだが、常にそのような機会を設けることはできないであろうから、バーチャルな世界で「センス・オブ・ワンダー」を体験させてあげられるとよい。紙ベースでは表現できないデジタルコンテンツを導入してもらいたいと思う。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの鹿山委員の意見は大事だと思うので研究していく必要がある。まず、今あるICT機器がどのように活用されているか、また、どこまで活用されているかについて研究してもらいたい。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、学校訪問した際に感じたことは机の大きさが小さいのではないかということだ。教科書は以前より大きくなり、ノート、筆記用具、さらにタブレット端末を置いており、机の端で書きづらそうにしてノートをとっている様子が見てとれた。その中で、先日開催された市町村教育委員会のオンライン研修会に参加した際のある市の教育長の説明では、今ある机に継ぎ足しするタイプの台を用いて机を大きくする工夫をしているとのことだった。そういった机を例えば、1つの学校で導入して安全性、耐久性等を検証し、問題がなければ、新しい机を導入するよりも予算が掛からないと思うので、そうしたことを検討してもらいたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような事例を把握しているか。ぜひ、研究してもらいたい。仮に、考え方がまとまっているなら見解を示してほしい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方は現時点ではまとまっていないが、1個当たりの費用と使用方法は調べている。現状、安全性等の考え方がまとまっていないため、引き続き研究していきたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ次第で良いので報告をお願いしたい。</li> <li>・その他、各委員から何かあれば願います</li> </ul>

大竹委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G A スクールは、これからの時代の子どもたちにとって欠かせないことと思うため、継続してよりよいものにしてもらいたいと思う。それと同時に子どもたちの成長に欠かせないものとして教職員の I C T 能力の向上も欠かせないと思う。教職員は、限られた時間で授業に向けた準備等を行わなければならないため、教職員自身がデジタルに触れる時間があるのか疑問に感じたところである。教職員自身の職場環境の見直しも必要な時期に差し掛かっていると思う。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただいまの大竹委員からの G I G A スクール構想に対する意見であるが、教職員毎に I C T の取扱状況に差があると思われる。それに関してはどのように感じているのか。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まず、教職員のデジタルトランスインフォメーションに対する理解度にはバラつきがあると感じている。ベテラン教職員が若い教職員から学ぶという姿勢も必要であると思われる。</li> <li>・ 大竹委員から意見があった教職員自身の職場環境の見直しについて、改善を図るためのツールの 1 つとして統合型校務支援システムがある。週末の新聞記事では、2030年度までに国において統一したシステムを使用したいと記事が掲載されていた。当該システムは非常に有効なものと認識しており、研究しているところである。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育行政は、全ての子どもたちに均等にならないため、この点を十分に考慮しながら、教職員の負担軽減に取り組んでいただきたい。</li> <li>・ その他、各委員から何かあればお願いします。</li> </ul>
大澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1台のタブレット端末や高速通信ネットワークなどの I C T 環境の整備は、子どもたちのみならず教職員の力を最大限に引き出す力になるという点において、大変期待されていることであると思っている。子ども一人ひとりの反応を把握しながら、理解度に応じた個別学習が可能となっているため、教職員においてはきめ細やかな指導が要求されることと思う。I C T 環境を整える必要性は、教職員がここ1年間で授業においてタブレット端末を使用するなど実践してきて、痛切に感じていることと思う。</li> <li>・ また、教職員の活用状況について、学級、学年、学校で格差が生まれないようにすることが非常に大切であると思う。先程、机の大きさについても意見があったが、子どもたちが勉強したいときに支障なくできる教育環境を整えることを第一に考えるべきであると思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが10年後、20年後に社会人となり、ICTを活用して収入が得られる職業に就いた際、しかも世界の人と協働し、又は競争しなければならない状況に直面することも考えられることから、教育現場でICT教育を推進していくことは大変重要であると思う。タブレット端末を使用している様子を見学すると、子どもたちはとても意欲的に授業に参加している。</li> </ul>
飯塚委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほど、統合型校務支援システムについて説明があり、2030年度までに国において統一したシステムを使用したいとのことであったが、未整備である本市においては、その間どのように対応していく予定なのか教えてもらいたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県内での統合型校務支援システムの整備状況はどのようなになっているのか。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>約7、8割の市町村で整備済みであると承知している。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのような状況であれば、現状や整備した場合の効果などについて早めに報告をお願いします。</li> <li>その他、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
<p>&lt;特になし&gt;</p>	
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後に、私から意見を述べたいと思う。</li> <li>先程、大澤委員からも意見があったが学校間格差が生じることを非常に心配している。この点について考えを聞かせてもらいたい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>格差の中には、担任教員個人の指導の格差もあり、教職員年代別の格差もあると考えられるが、これは教育における宿命であると思っている。そうした差を埋めるための環境整備が重要であり、研修も同時に進めていきたいと考えている。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>この学校ではこのような取組みを実施しているなどといった良い面を互いに連絡を取り合いながら、学校間格差を生じさせないためにどのようにしたら解決できるなどを考えていく必要がある。</li> <li>GIGAスクールにおいては、優秀な教職員が良い例を横展開してくれるような環境が整うことが望ましく、格差の是正のためにも学校間の連絡を緊密にしてもらいたい。</li> <li>また、市内のみならず広い視点で他市町村の情勢も把握し、適宜、報告をいただけるとありがたい。</li> </ul>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が現在、最も気にしている点は、学校間格差や他市との差である。予算の関係もあるが、必要な予算はきちんと積算し提示してもらわないと検討もできないため、引き続きよろしく願います。</li> <li>・以上で「G I G Aスクール構想の取組状況について」の議事を終了する。</li> </ul>
議 長	<p>4 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、続いて次第の4「報告」に入る。</li> <li>・「学校再編成の進捗状況について」であるが、昨年度末をもって、北河原小、須加小、星宮小、荒木小、中央小が廃校となり、新たに見沼小と忍小に再編成したところである。また、令和5年度からは、太田東小、太田西小が廃校となり1つに再編成される予定である。現在の取組状況について、教育長に説明をお願いします。</li> </ul>
教 育 長	<p style="text-align: center;">＜資料2により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明に関し、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合するにあたって、通学距離が遠くなる児童もいると思うが、スクールバスの運行はどのように考えているのか。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの運行基準を定めており、代表的なものとして、対象児童は、原則、学校再編成により学校がなくなった地域で、かつ、通学距離が概ね2キロメートル以上としている。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学距離が概ね2キロメートル以上ということであるが、場合によっては危険な通学路もあることが想定されるため、当該基準に捉われず地域の意向を取り入れた柔軟な考え方で対応してもらいたい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね2キロメートル以上としたのは、その外側にスクールバスのバス停を設けており、そこに通ってくる児童を対象とするためである。なお、身体上配慮が必要な児童については、当該基準に捉われず、近所のバス停を利用することを妨げない方向で考えている。</li> </ul>



議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、3キロメートル以上の距離を徒歩で通学している児童もいる。そのため、スクールバスの運行については、再編成を進めていく中でそのような事案も含めながら先程の基準で検討していかなければならないと考えている。</li> </ul>
大澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度再編成準備委員会・専門部会での協議の1つに「校歌」があるが、太田西小、太田東小の校歌いずれも同じ作詞者・作曲者であり有名な方であるため、地域の方が変える必要がないとなれば残してもらいたいと個人的には考えているがどのように考えているのか。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌については、大澤委員の指摘のとおり、両校とも同じものを現在使用している。両地区の集まりでも同じ校歌であるからこのままでよいとの意見であったため、その方向で進めている。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
飯塚委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の4月には複式学級の解消として統合が2つと編入が1つと多くの再編成が行われた。教育委員会事務局をはじめ、度重なる地域での説明会を開催し、保護者の意見を取り入れるなどし、大変苦勞をされたと思う。</li> <li>・令和5年度は、太田西小、太田東小の再編成ということであるが、前回の再編成と同じように地域や保護者の意見を汲み取っていただき、無事に再編が進むことを願っている。</li> <li>・複式学級の解消として新しく発足した忍小、見沼小、編入した南河原小では、子どもたちが新たな環境に置かれているため精神的な負担のケア等をこれからもお願いしたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの飯塚委員の意見について、児童の様子について気に留めていただくようお願いする。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合や編入した各小学校の子どもたちは、元気に通学していると報告を受けている。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、現場の把握に努めてもらいたい。</li> <li>・その他、各委員から意見等があればいただきたい。</li> </ul>
<p>&lt;特になし&gt;</p>	
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で「学校再編成の進捗状況について」の報告を終了する。</li> </ul>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各委員におかれては、気が付いた点があればその度に教育長や教育委員会に報告をしていただければと思う。</li> </ul> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、続いて次第の5「その他」に入る。</li> <li>・連絡事項等やその他意見等はあるか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜特になし＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に私から意見を述べさせてもらいたい。</li> <li>・子どもたちの学力向上について、全国学力・学習状況調査の結果が来ていると思うが、今後、本市の学力向上により一層力を入れていきたい。それに対する考え方について説明をお願いします。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の全国学力・学習状況調査では、小学校6年生の算数で24ページある。つまり、45分間でこれをすべて解くとすれば1ページ2分で読み取る必要があり、読解力がなければ厳しいと感じた。</li> <li>・現在の学力向上のために必要なことは3つと考えている。</li> <li>・1つ目は、教職員の意識改革である。私が教育長に就任した昨年7月と今年4月の校長会において、行田市の小中学校の一番の課題は、学力向上であると明言しており、管理職の自己評価シートに学力向上を明示するよう伝えているところである。また、昨年度は教育長の学校訪問を実施している。</li> <li>・2つ目は、全国的な傾向と同じく、本市でも20代、30代の教職員が増えている。教師は高い熟練度が求められる職業であると認識しており、知識を一方向的に伝達するという教育は終わろうとしている。よりよい授業をするためには、研修が欠かせないと考えており、教育委員会では、今年度各学校に若手を中心に100を超える研修に指導主事が赴いている。</li> <li>・3つ目は、優れた取組みをしている他市に教育長も自ら出向き、他市から学んできている。今後、これらの優れた取組みについて教育指導課を中心として研究し、型を作っていこうと考えている。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市のケースで良い事例を把握していればいくつか紹介してもらいたい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた取組みを行っている自治体に共通していることは、教職員に対する意識改革をし、研修を実施し、又はマンパワーを導入しているところであり、DX化も進んでいることが見受けられる。</li> </ul>

<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他市の状況について、引き続き、情報収集に努めてもらいたい。</li> <li>・ 全国学力・学習状況調査の問題を実際に自分で解いてみると、他に必要な施策を見出す新たな気づきが得られると考える。</li> <li>・ 読み取る、感じ取る、話し合う、文章をまとめるなど本来の教育はこうあるべきであるといったことが目に見えてくると思う。一度、学力向上について、どのように考え取り組んでいるかを協議したいと考えているので、今後の対策について次回開催以降に具体的に示してもらいたい。</li> </ul>
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これにて議事を終了する。</li> <li>・ 議長の職を解かせていただき、事務局に進行を返す。</li> </ul> <p>6 閉会</p>